

第2学期 感謝する子（美しいものを発見する生活）

第3期（9月～10月）みんな一緒に

第4期（11月～12月）感謝をよろこぶ子どもたち

*たくさんの人たちからのお世話や自然の恵みによって守られていることを知り、心から感謝することの大切さとすばらしさを身に付ける



わくわく・イキイキの2学期が昨日から始まりました。

昨日の「引き取り訓練」にはご協力いただきましてありがとうございました。園児たちも地震を知らせる非常ベルにマイクを通しての指示に耳を傾け、落ち着いて行動している姿がありました。いつどこで、地震や豪雨、火災が起こるかわからない昨今となりましたので、これからも訓練を続けて行く予定です。

夏の間は2号3号認定の子どもたちが中心の生活で、畑の夏野菜はすっかり終わり、「シュガープラム」「姫りんご」が暑さの為か例年よりは少なく、砂場の上の「ぶどう」は袋をかけていましたので、例年よりは豊作となりました。これからクッキングコーナーでは夏の「かき氷」から園内で実ったフルーツを中心に子どもたちとクッキングをして秋の豊かさを味わっていきたいと思っています。

子どもたちも楽しみにしています「祖父母お招きの会」そして「お月見の会」「ふれあいひろば」もありますので、家族一緒に「わくわく・イキイキする気持ち」を楽しみにしていきましょう。

幼児期は「生きる力」を身につける絶好のタイミングです！

●我が子への子育てのヒント！

ご自分の幼児期はご両親からどのように育ててもらったかを思い出してみましょう！

どのような思い出が浮かびますでしょうか…？

うれしい思い出がいっぱい！

- ・「いつも笑顔で接してくれていた」
- ・「抱っこしてくれた思い出が残っている」
- ・「きれいな服装をしていた！」
- ・「いつも一緒にいてくれた」
- ・「お手伝いをしたときに褒めてくれてうれしかった」等々



●我が子への子育てには、幼児期のご自分の温かな思い出を伝えていきましょう！

我が子が安心して過ごせるように「ダメ！・こまる！」でなく「プラス思考」で応援し、

大人になった時にたくさん「うれしい思い出」が浮かんでくると何よりですね！

応援をよろしく願っています。

新しいスタッフが仲間入りしました。どうぞよろしくお願いいたします。

- ・中尾 智美：主に朝の2番バス担当となります。バザーの時などに来園していました絵の得意な元こどものもりの保育教諭です。
- ・佐々木 孝幸：松伏の中学を中心に体育教諭として42年間、今度は外あそびを中心にフリーとして孫のような子どもたちとの毎日を楽しんで過ごしてもらいます。
- ・小松原 幸子：数年前に定年退職しましたが、元気いっぱい、こどものもりの子ならなんでもよく知っていますので、時々手伝いに来てくれます。
- ・マリ ベスティ：オーストリアのウィーン大学の学生さん(コンスティン先生の友だち)です。7月末に来日して、日本語を勉強中です。英語講師として異文化に触れていければと願っています。